

あいちプラスチックごみゼロ宣言

～捨てない・減らそう・変(替)えよう! アクションプラごみゼロ!～

愛知県は、大都市圏でありながら、伊勢湾、三河湾、遠州灘に囲まれ、スナメリが回遊し、ウミガメが産卵するなど、自然豊かな海に恵まれています。

その一方で、世界的なモノづくりの拠点でもあり、プラスチック製品の出荷額が全国1位であるなど、プラスチックの製造や利用に深いかかわりを持っています。

プラスチック製品は、非常に便利で、わたしたちの生活を様々な面で支えています。が、ひとたび、ポイ捨てなどによりごみとなり、川を通じて海に流れ出ると、海岸の景観を悪化させるだけでなく、海洋生物に悪影響を与え、漁業の妨げになるなど、様々な問題を引き起こすおそれがあります。

また、紫外線や波などによって細かく砕けた、いわゆるマイクロプラスチックには、海の中で有害物質が付着すると言われており、それを誤って食べた魚を人が食べることによる健康への影響が心配されています。

閉鎖性水域である伊勢湾や三河湾では、川などから流れ込んだプラスチックごみが滞留しやすく、ごみの回収とあわせて、「ポイ捨ての防止」(捨てない!)、「3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ)の徹底」(減らそう!)、「プラスチック代替製品の提供や利用」(変(替)えよう!)など、地域をあげた取組が重要です。

わたしたちは、愛知の環境を守り、豊かな海を未来の子どもたちに引き継ぐため、プラスチックごみゼロに向けて、消費者、事業者、行政が一体となって行動していくことをここに宣言します。

2020年1月25日

ごみゼロ社会推進あい知県民会議
会長 愛知県知事 大村 秀章



生物多様性
2020
AICHI-NAGOYA

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



9
産業・
イノベーションを
つなぐ



11
持続可能な
都市を
つくる



12
資源を
有効に
活用する



14
海の豊かさを
保つ



17
パートナーシップ
で目標を達成しよう

愛知県は「SDGs未来都市」として、SDGsの取組を推進しています。

<ごみゼロ社会推進あい知県民会議会員一覧>

(社福)愛知県母子寡婦福祉連合会、(公財)愛知県老人クラブ連合会、愛知消費者協会、(一社)愛知ビルメンテナンス協会、エコデザイン市民社会フォーラム、ガラスびん3R促進協議会、(公財)古紙再生促進センター中部地区委員会、(公社)食品容器環境美化協会愛知地方連絡会議、愛知県再生繊維協同組合、中部壇場連合会、中部リサイクル運動市民の会、東海硝子原料問屋組合、名古屋再生資源協同組合、日本自動販売協会東海支部、(公社)日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会、愛知県女性団体連盟、(一社)全国スーパーマーケット協会東海地区連合会、愛知県生活学校運動推進協議会、愛知県生活協同組合連合会、愛知県地域婦人団体連絡協議会、愛知県中小企業団体中央会、愛知県農業協同組合中央会、愛知県婦人消防クラブ連絡協議会、愛知県プラスチックリサイクル協同組合、愛知県衛生事業協同組合、(公社)愛知県看護協会、愛知県小売酒販組合連合会、愛知県公立高等学校PTA連合会、愛知県古紙協同組合、愛知県再生資源団体連合会、愛知県自転車モーター商協同組合、愛知県酒造組合、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知県商店街振興組合連合会、日本チェーンストア協会中部支部、(一社)日本鉄リサイクル工業会中部支部、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、発泡スチレンシート工業会、(一社)愛知県産業廃棄物協会、愛知食品産業振興協会、(一社)愛知県薬剤師会、愛知県市長会、愛知県町村会、54市町村、11一部事務組合、愛知県



この印刷物は、有害となるVOC(揮発性有機化合物)が発生しない、Non-VOCインキを使用しています。

プラスチックごみゼロへの取組

消費者

- ぐみは持ち帰り、自治体の回収ルールに従い処分する
- 散乱しないよう、ぐみ出しを工夫する
- マイバッグや容器を持参し、レジ袋などを使用しない
- 使い捨て(ワンウェイ)でない、繰り返し使える製品(マイボトルなど)を使用する
- 詰替え製品やプラ代替製品を選択して購入する
- プラぐみ削減に取り組んでいる店舗や事業者を利用する

など

- 捨てない!
- 減らそう!
- 変(替)えよう!

事業者

- 詰替え製品やプラ代替製品を開発・提供する
- 包装等資材(容器、ストロー)の代替や量り売りなど、食品販売時のプラ製品使用を削減する
- 簡易包装や紙袋の使用など、物販時のプラ製品使用を削減する
- マイバッグや持参容器の使用を優遇するなど、消費者の取組を支援する
- 風や劣化により散乱しないよう、使用済み等のプラ製品を屋外に放置しない
- 製品への表示や店舗での案内、回収ボックスの設置など、消費者における適正処分を促進する

など

共通の取組

- 3Rプラス1(リデュース、リユース、リサイクル+リフューズ)を徹底する
- ぐみ拾いなど環境活動の実施、参加や呼びかけを行う
- プラぐみ問題や必要な行動について調べる、考える、伝える

行政

- 県内、世界のプラぐみの実態や課題をわかりやすく発信する
- 各種行事や施設において、プラぐみゼロに向けた取組を率先して実践する
- プラぐみゼロに向けて有効な取組事例などを発信し、広く普及する
- プラ代替製品等の開発・利用など、事業者が行う取組を奨励・支援する
- ぐみの分別回収から有効活用まで、プラぐみゼロに向けた体制を充実する
- ぐみゼロ社会推進あいち県民会議を始め消費者、事業者との協働を拡充する

など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



消費者、事業者、行政が協働して、プラスチックごみゼロに向けてこれらの取組を着実に実施し、SDGsの達成を目指します。